

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	みんなで支える地域福祉推進事業	担当課	長寿介護課
事業内容(簡潔に)	蕪崎市ねたきり高齢者訪問理容・美容サービス事業／蕪崎市介護用品支給事業／蕪崎市高齢者外出支援サービス事業／いきいき山梨ねんりんピック参加事業		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	誰もが安心して暮らせるまちづくり	
	政策	地域の絆を深める福祉社会の実現	
	施策	高齢者福祉の充実	
関連する個別計画等	高齢者福祉計画・介護保険事業計画	根拠条例等	蕪崎市ねたきり高齢者訪問理容・美容サービス事業実施要綱／蕪崎市介護用品支給事業実施要綱／蕪崎市在宅高齢者外出支援サービス事業実施要綱

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	在宅ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯に、各種サービスを提供することで、安心した生活が送れるように支援を行う。また、介護者の介護負担の軽減及び経済的負担の軽減を図る。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> ねたきり高齢者訪問理容・美容サービス事業：理美容券 3,500円/枚を交付（年間最大4枚） 介護用品支給事業：紙おむつ 30枚/月・パット 60枚/月を配達又は、クーポン券 3,000円/月を交付 在宅高齢者外出支援サービス事業：タクシー券 1枚 740円を月2枚交付（年間最大24枚） いきいきやまなしねんりんピック参加事業：9月に行われるいきいきやまなしねんりんピック事業への参加支援
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ねたきり高齢者訪問理容・美容サービス事業：在宅ねたきり高齢者・在宅認知症高齢者（65歳以上） 介護用品支給事業：要介護3以上・常時失禁状態にある在宅高齢者（65歳以上）・重度心身障害者（1種1・2級） いずれも在宅で、市民税非課税の者 在宅高齢者外出支援サービス事業：75歳以上ひとり暮らし高齢者 いきいきやまなしねんりんピック参加事業：高齢者

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
A	事業費 (千円)	1,773	1,665	1,425
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	1,773	1,665	1,425
B	担当職員数(職員E) (人)	0.2	0.2	0.2
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,373	1,343	1,315
D	総事業費(A+C) (千円)	3,146	3,008	2,740
主な事業費用の説明	社協への各種事業に係る委託料			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 訪問理美容利用者数	対象者数	10人	10人	12人
	2 外出支援利用者数	延べ利用件数 交付者数	1,986件 309人	1,810件 312人	1,552件 295人
	3 介護用品利用者数	延べ利用件数	12件	12件	12件
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	対象者は少ないが、外出できない高齢者には必要であり、介護者への支援につながっている。			
	2	令和2年度は緊急事態宣言の影響で4月・5月の利用件数が前年度の半数程度になったが、高齢者が外出するための援助になっており、ひきこもり防止や交通手段に制約のある交通弱者の支援につながるものとして妥当である。			
	3	利用件数は少ないが、利用者には必要であり、介護者への支援につながっている。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	訪問理美容利用率	使用枚数/交付枚数 30.5% (11/36)	59.2% (16/27)	60.0% (21/35)
	2	外出支援 平均利用率	利用件数/交付済者 6.4枚 (1,986/309)	5.8枚 (1,810/312)	5.2枚 (1,552/295)
		申請率	申請者数/対象者数 71.3% (309/433)	71.3% (312/437)	68.7% (295/429)
3	参加者数	ねんりんピック参加者	87人	75人	0人
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	利用率は高いとは言えないものの、年々上昇しており、支援ができていると考えられる。			
	2	R2は減少しているが、毎年半数程度が使用され、外出の機会の手助けになっていると考えられる。また、一人暮らし高齢者台帳提出者の中のタクシー券対象者のうち、7割前後が申請しており、妥当と考えられる。			
	3	ねんりんピックは例年同程度の参加者がおり、参加支援は有効だと考える。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)			
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)			
	令和3年度の改善計画(今後の事業展開説明) 現在、在宅高齢者外出支援サービス事業の助成対象外となっている「韮崎市障がい者等地域生活支援事業実施要綱の受給者」の見直しを行う。当要綱にある意思疎通支援事業(R2受給者11人)、日常生活用具等給付事業(同194人)、移動支援事業(同61人)、日中一時支援事業(同68人)、声の広報発行事業(同13人)のうち、外出支援に関連する移動支援事業のみを対象外とする方向で検討を行う。			
過去の改善経過	改善の経過	<ul style="list-style-type: none"> R2年度より、ねたきり高齢者訪問理容・美容サービス事業、高齢者外出支援サービス事業、いきいき山梨ねんりんピック参加事業を長寿介護課へ移管。 R3年度より、在宅高齢者外出支援サービス事業のタクシー券交付枚数を月1枚(年間最大12枚)から月2枚(年間最大24枚)に拡大。 		
	直近の評価経過	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
改善案	利用者の利便性を高めるため、申請窓口の一本化を検討する。			
課長所見	超高齢社会が目前に迫っており、高齢者を地域で支える事業の重要性はより高まっている。福祉課から担当ごと事業を移管したことにより窓口が一本化し、利用者の利便性が向上したと考える。			